

牛の繁殖台帳（授精・妊娠鑑定・分娩）

農場名：_____ 年度：_____ 記入者：_____

[illegible]

- 授精するたびに1行書きます。「この産次の授精回数」は、同じ母牛・同じ前回分娩日の行を数えて自動で出します（未経産牛は「前回の分娩日」に「未経産」と書きます）。「分娩後日数」は前回の分娩日から授精日までの日数、「分娩間隔」は前回の分娩日から今回の分娩日までの日数で、Excel では計算式が入っています。
- 分娩予定日は、授精した獣医師・家畜人工授精師に確かめて書きます。授精証明書は、授精した獣医師・家畜人工授精師に交付を求めることができます（家畜改良増殖法）。もらった証明書は保管します。
- 記入例の牛の名前・個体識別番号・種雄牛の名前は架空のものです。

牛の個体台帳（出生・異動・届出）

農場名： _____ 農家コード番号： _____

[illegible]

- 牛が生まれたとき、譲り渡した・譲り受けたとき、死亡したときは、牛の管理者が遅滞なく届け出ます（牛トレーサビリティ法）。届出はパソコン・スマートフォンや電話（音声応答）でもできます。届け出た日を書いておくと、届け忘れに気づけます。
- 耳標は両耳に着けます。外れたときは、すぐに家畜改良センターに再発行を請求して着け直します。両耳に耳標がない牛は、原則として譲り渡しできません。

分娩と子牛の記録

農場名： _____ 年度： _____

分娩日	母牛の個体識別 番号	産次	分娩の様子（自 然・介助・難産）	子牛の個体識別番 号（耳標）	雌雄	生まれたとき の体重（kg）	子牛の状態・処置	耳標を着けた日	出生の届出日	備考
例 2025/11/7	1234567890	3	自然	4567890123	雌	30	初乳を飲ませた。異状なし	2025/11/8	2025/11/9	

- 出生の届出には、子牛に着けた耳標の番号、生年月日、雌雄の別、母牛の個体識別番号、牛の種別などが必要です。出生直後に死亡した牛は、届出の対象外です。